

# 平成 30 年度 大 滝 会 活 動 報 告

## ——大滝山神神社鳥居の補修・飯坂町史跡保存会の見学会——

報告：大滝会会長 木村義吉

大滝会理事 伊藤弘治

### はじめに

大滝会の諸活動についてはその都度大滝会ホームページ等で報告しているところですが、今回は、平成 30 年 10 月に実施された「大滝山神神社鳥居の補修」と、10 月及び 11 月の「飯坂町史跡保存会の万世大路見学会」（2 回）について報告します。

### 1. 大滝山神神社鳥居の補修

大滝山神神社は旧大滝集落内大滝分校の西側にあつて、明治 43 年頃<sup>みつしきんべい</sup>鉦山師光石三平氏（大滝鉦山の発見者、経営者）によって造営寄進されたものと伝えられている。ご祭神は、大山祇之尊（オオヤマズミノミコト）と木花之佐久夜毘売命（コノハナノサクヤビメミコト）で、山林守護・鉦山業守護・五穀豊穰等の神徳があるとされ、長く大滝集落の氏神様として尊崇されてきたものです。平成 18 年（2006 年）10 月 8 日には、古くなって傷みが進んだ旧社屋に替えて新しい神社社屋が遷宮（再建）されています（参考写真-1①②）。



参考写真-1① 光石氏寄進と伝わる旧大滝山神神社（離郷回想 20 周年記念 大滝出身者の集い）  
大滝会 征木新吉さん提供  
H101011



参考写真-1② 平成 18 年 10 月 8 日再建された大滝山神神社 H300520

なお、大滝山神神社について詳しく知りたい方は、当大滝会 HP の下記サイトをご覧ください。また下記サイトでは、大滝山神神社関連の他のレポートも案内しています。

※レポート「望郷大滝会 40 周年記念大会報告 ふるさと大滝の集い」所収、

「別添解説資料篇・大滝山神神社（大山祇神社）について」

<https://ootaki.xsrv.jp/40nen-4.pdf>

さらに神社鳥居についても老朽化が進んでいたため、皆様のご協力のもとに平成 25 年 8 月に再建されています（参考写真-2①～③）。



参考写真一2① 大滝山神神社旧鳥居 H240429



参考写真一2② 平成25年8月再建された新鳥居。H251013



参考写真一2③ 鳥居再建経緯 H290504

ところがその再建された鳥居がシロアリ被害により根本がぶよぶよになっているのを発見したので取り敢えず応急手当をおこないました。その方法としては、シロアリ被害のある根本の部分の表面を削り取り、薬剤を噴霧し、プラスチック板（黒色）を型枠代わりに柱の根本部に隙間を空けて巻き、柱と型枠の間にセメントペーストを流し込んだもので、これで様子を見ることとしました。当該作業に参加したのは、斎藤正美・渡辺智・山岸巖・木村義吉の4名です。

(写真一1～写真一3②)



写真一1 補修中鳥居全景、後方から望む。



写真一2① 補修作業





写真-2② 補修作業



写真-3① 鳥居補修後、前方から望む。  
H301104



写真-3② 鳥居補修後、後方から望む。H301104



## 2. 飯坂町史跡保存会の万世大路見学会

飯坂町史跡保存会（小柴俊夫会長）様におかれては、今年度万世大路の見学会を2回実施され大滝会で案内しています。

### (1)10月23日(火)

この日、後日（11月5日）の史跡保存会会員の皆様の見学会の下見を兼ねて、保存会役員の皆様4名（小柴俊夫会長、菅野昌利副会長他2名）を大滝会の木村と伊藤が案内しました。朝9時過ぎ飯坂学習センターに集合、2台の車に分乗し万世大路に向い、東栗子トンネル福島側の連絡路から上っています。旧大平集落入口（駐車スペースあり）までは車両で移動し、そこから栗子隧道までは自動車が通行出来ないので徒歩となります。駐車箇所のすぐ先で旧国道13号は数十メートルに渡り、大平沢に洗掘され道路幅が1m程度になっているためです。

途中では、旧明治期万世大路七曲坂・二ツ小屋隧道（鳳駕駐蹕之蹟<sup>ほうがちゆうひつのせき</sup>）・烏川橋等を見学し、今回見学会の終点となる栗子隧道に行ってきたものです。昼食は栗子隧道の前で取り4時頃学習センターに戻りました。

### (写真-4①～写真-8③)



写真-4① カエル岩。「昭和の大改修（S8.4～S12.3）」七曲バイパス（仮称）最初のカーブ掘削



写真-4② ムラサキシキブ（紫式部）



写真-5① ニツ小屋隧道到着



写真-5② ニツ小屋隧道（「昭和の大改修」2代目、L=384m、W=6.5m、S9.12完）福島側坑口。





写真-5③ ニツ小屋隧道前、鳳駕駐蹕之蹟  
(M14.10.3 明治天皇御小休所跡。  
移設後。明治41年9月建立。)



写真-5④ ニツ小屋隧道前、鳳駕駐蹕之蹟にて  
(M14.10.3 明治天皇御小休所跡。  
移設後。明治41年9月建立。)



写真-6① 烏川橋、福島側から望む。



写真-6② 烏川橋にて



写真-7① 旧大平集落入口にて(駐車スペース)



写真-7② マユミ





写真-7③ 太平橋付近



写真-8① 杭甲沢 三段滝(仮称)



写真-8② 栗子隧道(「昭和の大改修」2代目  
L=870m、W=6m、S11.8完)福島側



写真-8③ 栗子隧道福島側、坑内を望む。

## (2)11月5日(月)

この日は前回に引き続き、飯坂町史跡保存会の皆様を万世大路に案内しました。保存会からは菅野副会長様はじめ8名の方、大滝会からは木村と伊藤が案内しました(半田、斎藤両理事も参加)。まず、国道13号東栗子トンネル福島側の連絡路入口に10時頃集合、徒歩で二ツ小屋隧道を目指しました。途中カエル岩や昭和の大改修の七曲バイパス(仮称)の石積箇所などを見学し二ツ小屋隧道には昼前に到着隧道について説明をしました。昼食後は、鳳駕駐蹕之蹟の見学、一部の会員は烏川橋まで足を伸ばしています。

次に下山し新沢橋へ移動見学をしました。

この後、大滝集落へ向い大滝記念碑(分校跡)や鳳駕駐蹕之蹟(M14.10.3明治天皇御小休所跡。明治41年9月建立。)を見学し2時過ぎに解散しました。

(写真-9①~写真-13)





写真-9① カエル岩付近。「昭和の大改修(S8.4~S12.3)」七曲バイパス(仮称)最初のカーブ掘割箇所。



写真-9② 「昭和の大改修(S8.4~S12.3)」七曲バイパス石積箇所



写真-9③ 「昭和の大改修(S8.4~S12.3)」七曲バイパス石積箇所



写真-9④ 「昭和の大改修(S8.4~S12.3)」七曲バイパス石積箇所





写真-10① 「昭和の大改修(S8.4～S12.3)」  
七曲バイパス最後のカーブ掘割  
箇所を望む。



写真-10② 「昭和の大改修(S8.4～S12.3)」  
七曲バイパス最後のカーブ掘割  
箇所



写真-10③ ニツ小屋隧道到着  
(「昭和の大改修」2代目、L=384m、  
W=6.5m、S9.12完)。



写真-11 新沢橋  
(「昭和の大改修」L=42m、w=6m  
S11.12完)。福島側下流から望む。



写真-12① 大滝記念碑(S54.10.14 建立)



写真-12② 大滝記念碑 木村会長による説明





写真-13 明治天皇御巡幸 M14.10.3 大滝御小休所記念碑「鳳駕駐蹕之蹟(M41.9.12 建立)。  
右側 S10.11 史蹟指定記念碑(S18.11 建立)

## おわりに

平成 31 年 2 月 17 日（日）に大滝会役員会が開催され、平成 30 年度の経過報告があり今回その一部について報告いたしました。役員会では、31 年度の行事の予定や役員改選等についても議題となっております。また、今年の 9 月 27 日～28 日にわたって開催される「とうほく街道会議、万世大路・福島大会」に協力していくことについても確認しました。

本報告書の作成編集にあたってご協力をいただいた鹿摩貞男特別会員、大滝会 HP 管理人紺野文英様に御礼申し上げます。

以上